

子家センの 子育てLabo

子ども家庭センターのスタッフが子育てについての情報を発信していきます!



今月のトピック 子育て支援センターに遊びに来ませんか?

遊びながら子育ての喜びや悩みを共有!



イベントで広がる交流の輪! 親子の笑顔にもつながる!



氷川町子育て支援センターは、プレママやプレパパ、未就学のお子さんと保護者が一緒に過ごせる場所です。自由に遊ぶことはもちろん、毎月イベントも開催しています。スタッフや同じ月齢の赤ちゃんのママやパパと子育て中の疲れた・大変・心配など、なかなか口に出せない心の声を共有することで、気持ちが楽になり、気分転換にもなりますよ。一度気軽に遊びに来てみませんか?

■ 子育て支援センター

氷川町宮原702-5 (宮原福祉センター内)

☎0965-62-3456

※月～金 (9時30分～12時/13時～16時)



イベント情報配信中!



町民文芸

投稿先 〒869-4814 氷川町島地642番地 企画財政課宛 (毎月5日必着)

短歌

螢火のゆらりゆらゆらから闇空へ
吸ひ込まれゆくただ一つのみ
北野津 井田 道寛

熊日の読者ひろばで友となり
丹精こめし西瓜の届く
西野津 古崎 スエノ

信号で止まる私の右窓辺
名知らぬ小花淡き咲けり
西野津 古崎 栄子

庭先で冬越したハイビスカス
真紅の花見せ存在感示す
西上宮 廣瀬 小亀

週二回訪問リハのトレーナー
メンタルリハと二刀流なり
西上宮 広松 真実子

俳句

炎天や地の底深く深く水
北野津 井田 道寛

赤とんぼ黄泉の国より言伝を
西野津 古崎 スエノ

日盛りの空き屋根がけて草の萋
西野津 古崎 栄子

ミニトマト真っ赤な実を次次に
西上宮 廣瀬 小亀

熟れ枇杷の落ち放題や通学路
西上宮 広松 真実子

地蔵様みようがまんじゅうお好きかな
西上宮 山下 環

宮原小学校5年生が授業で 俳句を作りました

桜咲く春の季節はお花見だ
今 西 美空
暑い夏バットふりぬけホームラン
町 片山 俵人

iモード事件 (蔵出し)

このことは、榎が贈ってくれたこの一冊の本「iモード事件」を読んだ後、榎に返信した便りに記した文面、『「本田さん、榎です」(榎の便りの一行目のフレーズ)この冒頭の温もりは真理さんも私同様感じてくれたものと確信します。これは秘密ですが、きっと淡い恋心・・・このとき・・・にふさわしい情感を持つにいたった心の昂ぶりが、のちのドコモ選抜の因に違いなかつたと思います』と記した心情は真理さんと同じだったろうと想いおこす。

転職が決まったあと、真理が友人に告げるとその彼は、開口一番「えっ、「とらばーゆ」の編集長がとらばーゆするの?」と驚く。四十二歳の大きな賭けであった。

なお、この著書には多数の逸材が登場するが、後に夏野剛のように多岐な分野で活躍し実業家としてテレビにも度々登場するなど、大きな影響を世に与えている。ちなみに「i」はインフォメーションのIから真理さんが命名したもので彼女のひらめきが、文化世界遺産並みの影響を生んだ。

八火図書館だより

☎0965-62-3489

日中はまだまだ暑い日が続いていますが、暦の上では初秋となり、朝晩は少しずつ過ごしやすくなってきました。これからだんだんと深まっていく秋の気配を感じながら、本を片手にゆっくりとくつろぐ時間を過ごしてみませんか?

新着図書紹介

一般書 ヒロイン / 桜木 紫乃
からさんの家 伽羅の章 / 小路 幸也
けんごの小説紹介 / けんご
老いたら好きに生きる / 和田 秀樹

児童書 きゅうしょくたべにきました / シゲリ カツヒコ
ひとりぼっちのオオカミ / ケイティ・スリヴェンスキー
みちくさ / さとう わきこ
ひと箱本屋とひみつの友だち / 赤羽 じゅんこ

9月生まれの作家

あさの あつこ (昭和29年9月14日～)

岡山県生まれの小説家・児童文学作家。代表作『バッテリー』は、のべ1000万部を超えるベストセラーを記録し、多数の賞も受賞しています。時代小説のシリーズも多く、幅広い年齢層から支持を得ています。

おすすめ図書



時ひらく 辻村 深月 他

創業350年を迎えた三越を舞台にした6人の作家によるアンソロジー。カバーデザインは三越オリジナルの包装紙になっています。ファンタジー、ミステリーとさまざまなジャンルを一気に楽しめる作品。

人権が尊重され、
生きがいを感じられるあたたかい町

人権啓発コーナー

問 生涯学習課 ☎0965-52-5860

毎月11日は人権を確かめあう日です

人権に関する動画を放映します。
皆さんの参加をお待ちしています。

「障害のある人と人権」

■ 日時 9月11日 (※) 13時30分
■ 場所 氷川町文化センター ロビー

第1回子ども人権教室

6月29日に、氷川町文化センターで開催し、町内の小学校から児童が18人、保護者1人の参加がありました。はじめに人権学習として『いのちのまつり』という絵本の話聞いて、「命のつながり」について考えました。最後に子どもたちには、自分の大切な命を輝かせるために、何事にも自分から進んで取り組むこと、周りの人の命も大切にすることなどの話をしました。その後、ゲームで体を動かし、体験学習としてプラホビー作りをしました。午前中の活動でし



たが、みんなで楽しい時間を過ごすことができました。
2回目は、9月28日(土)に開催します。児童や保護者の皆さんの多数の参加をお待ちしています。詳しい内容については、小学校を通してプリントを配布します。